

パイナップル



倶楽部

第8号 Vol.8 1995.1.

SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION

三田市国際交流協会

〒669-13 三田市三輪2丁目1-1
三田市文化室内
TEL 0795-63-1111
FAX 0795-63-1366
2-1-1, MIWA SANDA
HYOGO 669-13 JAPAN

'94三田市学生英語スピーチコンテスト オーストラリアへ2名派遣!

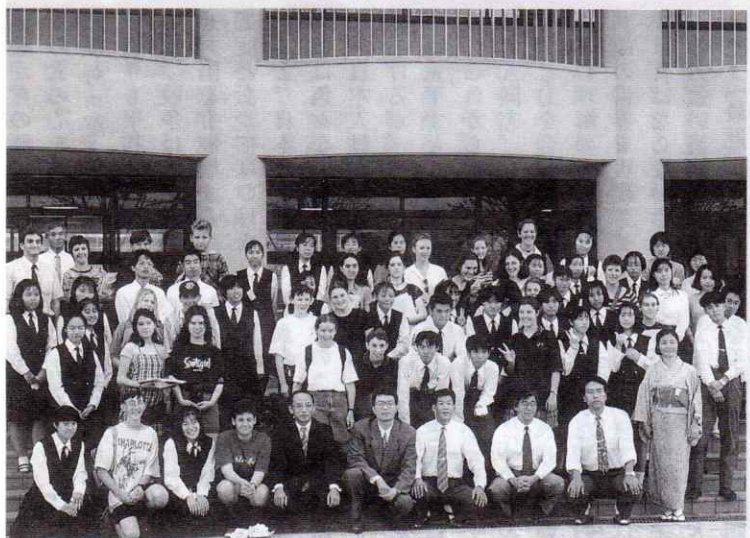


▲左 中学生の部優勝者 市本君 右 高校生の部優勝者 水本さん

当協会主催の「'94三田市学生英語スピーチコンテスト」が9月4日、三田市民会館大会議室で開催されました。高校生の部では、12名が「国際問題」または「今、私が夢中になっているもの」のいずれかを選択して、5分以内のスピーチで競い合いました。結果は、北摂三田高校1年の水本久美子さんが優勝、準優勝には三田学園高校1年の栗倉啓喜君、3位には北摂三田高校1年の家本さゆりさんが選ばれました。中学生の部は、46名の応募者の中からテープ審査で選ばれた25名が競った結果、富士中学校3年の市本匡也君が優勝、同じく富士中学校3年井原麗奈さんが準優勝、3位には八

景中学校2年田中理佐代さんが選ばれました。高校生の部優勝、準優勝者は、本年夏、三田市の姉妹都市であるオーストラリア、ブルーマウンテンズ市へ派遣されます。高校生の部の優勝者水本さんにインタビューしてみました。①練習期間はどのくらいとりましたか。また、どんな練習方法をとりましたか? 夏休みの間2、3週間びっしり練習しました。ビデオに撮り、自分のスピーチを先生に直してもらいました。②発表原稿の作成にあたり、特にどんな点に注意しましたか? 以前の大会の優勝者の原稿は、文の始めに人をひきつける魅力がありました。自分も始めから、聞いてほしいと思いい、平凡にならないよう苦心しました。③ブルーマウンテンズ市への派遣について、一言。

単に訪問者としてだけではなく、学校に少しの間でも通うことができたらいいなと思います。次に、中学生の優勝者市本君にも話を聞きました。夏休みを何もしないで過ごしたり、反対に勉強ばかりして終るのがいやだったので、自分から進んで申し込みました。心がけたことは、内容に留意し表現



▲三田西陵高校の生徒達と一緒に

力をつけることです。昨年入賞した兄のコメントも助けになり参加してよかったです。英語は小学校の頃から習っている好きな科目で、今回優勝できてとても嬉しいです。ますます充実してきたスピーチコンテスト今年もあなたも参加してみませんか。高校生の部優勝者、水本久美子さんの原稿は、7面に掲載されています。

若さみなぎる親善大使 ●●ブ市より27名来市●●

昨秋、9月28日より10月5日まで、姉妹都市オーストラリア・ブルーマウンテンズ市より、セントコロンバス校生21名と先生方6名が、三田市を訪れました。北摂三田高校や三田西陵高校への学校訪問では、生徒会が中心となった交流会や、お茶、習字など日本文化を楽しみました。日本語を勉強している彼らは、日本語、日本文化に興味津々で、時々日本語を交えて若者同士の話を花を咲かせていました。また、北摂三田高校のハイマートコンサートに出演したり、当協会主催のデイキャンプ(5面に関連記事)に参加し、協会員との交流を深めました。ホストファミリーを

CONTENTS

- ② コンサート・講演会・ツアー
Concert, Lecture, Tour
- ③ 若森京子さんの豪州報告
Australia Report by Kyoko Wakamori
- ④ 夏の異文化体験
Cross Cultural Experience in Summer
- ⑤ 国際デイキャンプ
International Day Camp
- ⑥ 平和のメッセンジャー
Peace Messenger
- ⑦ スピーチコンテスト優勝者原稿
Draft of Speech Contest
- ⑧ ブック・ビデオ・クイズ
BOOK·VIDEO·QUIZ

YMCA 三田YMCA

1995年度プログラム 一般受付 2月3日

YMCAは、青少年の全人的な成長を願う世界的な青少年団体です

英語を楽しく学びたい方へ

- 成人英会話 初級・中級・午前・夜間 (高校生以上)
- 幼児英会話 5才児 (1995年4月時点)
- 小学生英会話 (1~2年生, 3~6年生)
- 中学生英会話 (1~3年生)
- モデルレッスン 3月下旬(予定)

子供達の健全な育成を願って

- 幼児プレスクール2才児 (1995年4月時点)
- 幼児プレスクール3才児 (1995年4月時点)
- 野外活動 小学校1~6年生
- サッカー 小学校1~6年生 4・5才児 (1995年4月時点)

高校生の目標にむかって

- 高校生科 無料体験コース・3月下旬予定 (神戸YMCA予備校三田校)
- 高校生ボランティアサークル

奉仕の輪の拡がりのために

- 大学生ボランティアリーダー会
- ワイズメンズクラブ

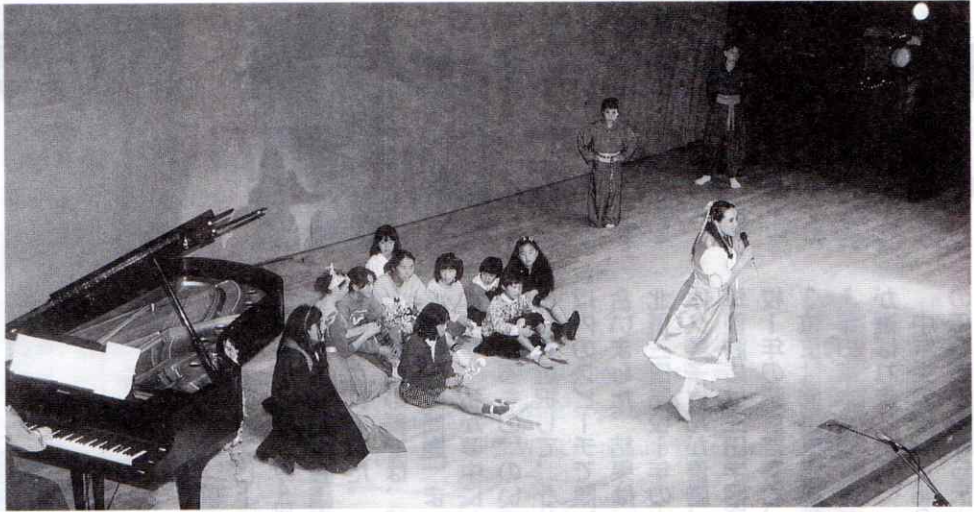
お申し込み・お問い合わせは 月~土 10:00~18:00 (日曜・祝日は休館)

〒669-13 三田市南が丘2丁目14-37(ローソン南が丘店3F) ☎(0795)59-0075

ピアノとバレエの ファンタジー

国際家族年を記念し、豪州で人気の音楽一家、クーパー・ファミリア（ジョン・スー・シルエミリー・アマンダ・ティム・ウィル）の親善公演「ピアノとバレエのファンタジー」（当協会、コアラの会主催）が、94年11月6日午後2時から、三田市民会館大ホールで開催されました。クーパー一家を招くことになったのは、93年11月に三田市の文化使節団が姉妹提携5周年を記念して本市を訪問し、クーパー一家と知り合ったことと、その本市を訪れた団員相互の親睦を図るため94年4月に「コアラの会」（西田保代表、三十一人）が結成され、クーパー一家の受け皿ができたことによりです。

公演は、3部構成で、1部「魔法の森」恐ろしい巨人の心をなごませ、やさしくするストーリー。子供達が踊る「スラブの踊り」ドボルザーク・ジルの繊細で美しい音色のピアノにエミリーの妖精のようなバレエ。「月の光」ドビュシー・観客も参加した「森のボルカ」ポーランド民謡など。2部は、94年8月に本市で姉妹都市公演した三田関口バレエ団（関口正人主宰）の詩人と風の精16人がショパンの「レ・シルフィード」で賛助出演された。3部「不思議のおもちゃ屋さん」ジョーン演じる老店主が眠っている間に人形達が動き出し楽しく歌い踊るストーリーで、「砂糖菓子」チャイコフスキー・BSS英語教室の生徒が歌う「ドレミの歌」・アマンダが歌う「虹の彼方に」・力



▲11/6 市民会館大ホールでおこなわれた公演の1シーン

懇親パーティー 林同春氏を迎えて

当協会主催の懇親パーティーが94年11月29日、神戸華僑総会会長の林同春氏を迎えて行われた。林氏は、1925年、中国福建省で生まれ、9歳の時に来日。終戦直後、神戸・三宮の高架下で商売を始め、大阪の船場に仲間とビルを買い、次々と事業を挙げ、日本有数の華僑成功者となる。

林氏は、滞在60年の間、口では言い表せない苦労の数々を味わってこられた。その今までに受けた体験から、平和と日中友好に大変な情熱を傾けておられ

る。戦時中、岡山県津山市にいた時のこと。わら人形に敵国のリーダーの似顔絵をはり、竹やりで突く軍事教練があった。中国人である彼は、そのわら人形の間に立たされ、生徒達はやりを持って向かってくる。面白半分にあく者もあれば、顔をそむけながら突く者もいた。その時は、怒りよりも、本当に刺されるのではないかと、ただ恐怖心のみでいっぱいだった。と声をつまらせて語って下さった。会場では、目頭をおさえる人いっぱいだった。まさに真実の体験からの話には、全ての人の心を動かす迫力があった。「私は、何よりも平和を願っている。戦争は人を狂わせ、国をも破壊する。二度とあってはいけな

いこと。日本と中国の間には色々な問題がある。日本人は欧米人を見上げるが、アジア人には見下すところがあ

る。これからは同じアジア人同志、もっと、もっと力を合わせて、相互の理解の上に共存共栄の世界を実現させなければならぬ」と彼の力強い言葉が心に響く。「最近、中国からの留学生が年々増えている。国費留学生以外に、私費で働きのながら苦学している人が多

MIMI

くずの種子採取ツアー

くずの種子は……

- いち早く根を伸ばし、火山灰や泥流体積物の流出を防止。
- 茎はその繊維を利用して民芸品の材料になる。
- 根は葛湯や生薬カクコンとして風邪薬として利用。
- 根と茎は火山灰でアルカリ化した土地を改良する。

ファイリピン・ルソン島中部にあるピナツポ火山大爆発での被災地救援のため、94年11月

16日、協会員総勢15名（内事務局員3名）でクズの種子採取を行った。どんより曇った寒空の中、市民会館前を出発し、武庫川沿いの松山堤を歩き、クズの群生している武庫が丘6丁目・8丁目に着。軍手とナイロン袋を手にし、皆意気込みも新たに採集した。しかし、群生している割には、そう簡単に種子を見つけないことが出来なかった。そのうちまっ黒にひからびたカラス豆の様なものを見つけたことが出来た。それを見つけた時の、みんなの嬉しそうな顔。一人が「こっちに沢山あるヨ」と叫ぶ。すると、みんなそこに群が



▲ツアー参加者

と、みんなそこに群がたみんなの熱意がきつと通じるだろうと願いつつ、その場を後にした。

「本紙を読まれて、クズの種子を採取された方がおられましたら、当協会までご連絡、もしくは、ご送付頂ければ有難く思います。」

MIMI

ウツディ 音楽教室 (あんだんての会)

生徒募集中
出張レッスンもOK

- 個性を生かす個人レッスン
- ピアノコース (月謝4,000円より)
- 電子オルガンコース
- 声乐コース
- フルートコース
- ソルフェージュ・楽典 (音大受験)

講師は、全員音楽大学出身のベテラン講師です。まず、基礎を着実に、そして、豊かな音楽表現へとご指導いたします。

無料体験
レッスン実施中!!

★ピアノ調律 特別割引

音楽を通して生活をエンジョイしませんか? みじかな目標を持ち実力アップ

- ☆ママさん&シルバーお楽しみコース
- ☆月2回月謝半額も可。
- ヤマハ・カワイグレードテスト制度
- PIARA (日本ピアノグレード認定協会)

教室 (すずかけ台教室) 三田市すずかけ台2丁目23-11 (エルムプラザ近く) 0795 (65) 0558
 教室 (志手原教室) 三田市志手原373 (志手原バス停前) (夜間) (62-4870) 岩崎

- 内科
- 放射線科
- 消化器科
- 理学診療科

診療時間 (○印)	月 火 水 木 金 土 日・祝日						
	9:00-12:30	○	○	○	○	○	○
4:30-7:30	○	○	○	休	○	3:00-5:00	休



木村クリニック

三田市駅前町9-3 (三田サウス1-そごう2F)
 でんわ (0795) 62-7627

若森京子さんの オーストラリア報告

若森さんは、イン
ターンシップ・プログ
ラムス」に応募し、き
びしい派遣試験にみご
とパスして、3カ月間
豪州オーストラリア市のセ
ント・パトリックス・
パリティシュ・スクール
で日本語と日本文化を
紹介してきました。

※インターンシップ
プログラムス・・・
1979年に始まり
この13年間で約2千5
百人の日本人を日本を
紹介するインターンと
して世界各地に派遣し
国際交流に大きな役割
を果たしている。会長
はハル・M・ライシャ
ワー元駐日米国外使夫
人。

ユーカリの聳える道
をぬけるとそこには巨
大な石が一つの山を成
していました。人間を

のぼり心遊ばせる幸
せをかみしめています。
シドニーから飛行機
で1時間、窓から見下



▲若森京子さん

突き放した荒々しいど
こまでも自然にまかせ
た形。その頂上から見
る地平線は澄みきった
空と溶けあい、そこに
は時を刻む光線が突き
ささっていました。

私はふとその時、人
間の少し湿りを帯びた
知恵の雅やかさがある
飛鳥の石舞台や謎に包
まれた巨石の群を想
い、美しい青桐にかこ
まれた日本の歴史の重
厚さを懐かしく思いめ
ぐらせていました。

この様に風土と文化
の全く異なった国で3
ヶ月半の間、まるで野
兔のごとく純粹に自由
をたのしみ、未来に向
かってよく働く人々と
寝食を共にしてみ、
やはりあそこは地上の
楽園ではなかったのか
しらと、過ぎた月日は
幻のごとく私の胸にこ
み上げてくるのです。

日常の煩雑と喧騒の
中、風穴の様に一瞬自
分だけのあの時空をす
るすど緑の大地に光り
くねるモーリー川。ピ
クトリアとの州境いに
近い人口4万5千人の
オーストラリアは黄金色に
輝く秋の真最中でし
た。小さな空港で花束
とフラッシュの雨、機
関銃の様に喋るオース
トラリアイングリッ
シュにパニック状態と
なり、私の第一歩は前
途多難でした。

今日のために1年間
を準備に費やし、新聞
の折り込み集め、水墨
画、英語俳句、お伽噺
の翻訳と紙芝居作り
（水彩の「鶴の恩返
し」が好評で1枚ずつ
額を付けて学校に保存
された）和紙と折紙取
集、日本と豪州の歴史、
小学校のスライド
（富士小学校のフィル
ムを借りて制作）茶華
道、日本舞踊のおさら
い、その他すべてが目
的のために……。

しかし、どのプロセ
スも私にとって心が弾
くまで自然体で注ごう
とささいな気負いと共
に日本を発ちました。

1994年4月15日
からマーキステイン
家、ガイ家、アッカ
ン家と1ヶ月ずつ滞在
し、その間冬休みを利
用してシドニー、ブ
ルーマウンテンズと旅
行をし、学校終了後2
週間メルボルンの古い
友人バーバラ宅に滞在
しました。各家庭から
広がる交友関係もあ
り、People to People
の精神を貫きました。

長男ダニエル（13
才）は父から教えられ
た通り薪を割り暖炉に
火をつけます。長女ブ
ラディ（12才）は食卓
の準備、次男ティモ
シー（8才）と次女チ
エルシー（6才）は部
屋の片付け、この大家
族の夕餉の風景は、私
達の幼き頃の日本の大
家族を彷彿とさせるも
のです。大きな屋敷に
動物達と心豊かに暮す
人々、家族観に大きな
揺らぎが生じている日
本の事がふと頭をよぎ
りました。家族の絆は
大変強く、夫婦は勿論
のこと特に父と娘のス
キンシップは心暖まる
ものがあります。

ブルーマウンテンズ
でお世話になったグレ
ン氏の場合、前妻の娘
も交えて旅をしました
が、普段の空白を埋め
るかの様に激しいスキ
ンシップです。同棲中
のシャロンの連れ娘も
時々父親に甘えます。

私は各人の心情を思い
やり胸が痛みました
が、大変ドラマチック
な一日でした。これが
当り前の事として日常
化しているのが現状で
す。前記の平和な大家
族とは裏はらに離婚率
が高く社会問題となっ
ていますが、大変明る
いのがせめてもの救い
でした。また、多民族
国家の悩みもありまし
ようが、開放的な大ら
かさはやはり豊かな土
壌からきているのでし
ょう。ほとんどの家が
平家で、プールがあり
ます。丁度、近くで
オークションがあり見
学しましたが、3百坪
の土地に素敵な家が建
ち2千2百万円で落札
されたのは呆然とし
ました。

広大な国は車社会で
もありません。友人同士
の絆も強く、他家の子
供の送迎はあたりま
え、お互いの家に泊り
あつたりもしてしまし
た。昔の日本の長屋感
覚が脈々と流れていま
す。週末には人間関係
を確かめ合うかのよう
にパーベキューパー
ティが催されます。

さて、私の通うカン
リック系の小学校は古
い教会のそびえる名門
校で、最初の日、着物
姿で21クラス（6百名）
を訪ね黒板に漢字、ひ



▲教室での授業風景

らがな、カタカナで名
前を書き自己紹介をし
ました。多くの子供達
に強烈な印象を与えた
様です。私が滞在する
3ヶ月をJAPAN・
DAYとして朝礼の挨拶
は「OHAYOGO
ZAIMASU」で始
まります。学問と平行
して人間教育に力を入
れ、優しさと厳しさが
表裏一体となって先生
と生徒のスキンシップ
が盛んなのに驚きまし
た。学校は一つのコミ
ュニティで社会人とし
ての躰が厳しくなされ
ており、各クラスは先
生によって個性的で、
まるで家庭訪問をして
いる様です。ドアを開
けると突然拍手で迎え
られ、何度か胸を熱く
しました。もちろん生
徒のアイデアで開いた
感謝パーティです。子
供の頃からパーティの
方法を学んでいるので

す。私が特に印象深か
ったのは教師の人格の
すばらしさです。若手
を中心に約30名のスタ
ッフが実にきびきびと
協力し合って教育に取
り組んでいます。11時
のコーヒータイトに何
度かスタッフの誕生
パーティが開かれまし
た。今も思い出深い
は、Progressive Party
といって一晩に3軒の
先生の家を夫、妻、恋
人同伴でバスに乗り合
わせて廻ります。御馳
走を囲んでワイン片手
に満員の家で友好を深
めます。最後のデザー
ト・コースとなったケ
ンビー家を出たのは午
前1時を過ぎていまし
た。私はふと毎週FAX
で励ましてくれる主
人の事を考えていまし
た。

湿原には白鳥黒鳥が
遊び、川にはペリカン
が舞い、森蔭へ足を踏
み入れるとカンガルー
が跳びかき、かつてこ
こを訪れた先住民のア
ボリジニや入植者の目
に映ったであろう風景
がまだ残っています。

長い歴史と伝統の日
本からの小さな客人を
敬意をもって迎え素直
に喜び、謙虚に学ぼう
とする人々の野兎の様
な純粹な眼に逢えて、
私も多くの事を学びま
した。

今は私の折った数知
れぬ折り鶴の行方を一
つ一つたどっています。

留学生にお部屋の提供を お願いします。

●神戸三田国際公園都市(カルチャータウン)に4月、総合政策学部開校(定300名)●

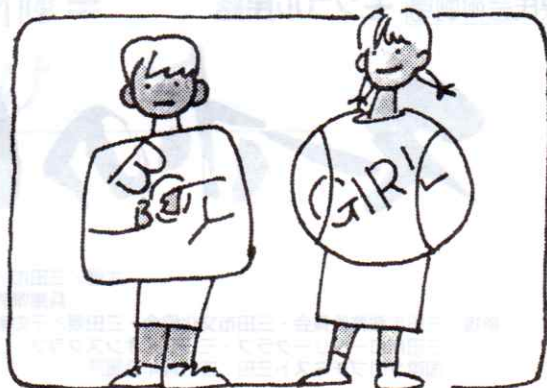
●特に経済面から留学生は賃貸等を希望します。

*なお、留学生の母国はアジア圏中心です。まずお電話下さい。詳細説明します。

関西学院大学

厚生課

TEL.0798(54)6113 日本人学生用も同時募集中



ブ市より昨年4月から今年3月までの1年間、交換留学生として北摂三田高校に通っているバージニア。「オーストラリアに帰りたくない」と、とても三田が気に入っている彼女の体験記です。

私は夏休みの間に、永澤寺（渡辺義弘氏所有）ですばらしい2週間を過ごしました。そこでは、学ぶことやお手伝いすることがたくさんありましたが、それが大変楽しかったのも毎月第2土曜日にお寺に通っています。お寺の仕事は朝7時ごろから始まります。いつも掃除することがいろいろありますが、結構楽しくて良い学習経験になるので嫌ではありません。お寺での仕事はいろいろあります。例えば雑巾掃除はモップを使うように床を拭き、掃き掃除は箒を使ってお寺の中や外を掃きますが、夏は外がとても暑かったので大変でした。でも何回も休憩をとって何とか切り抜けました。また、花を活けたり、食事の用意を手伝ったりもしました。

10月23日には新しい仏殿が落慶し、ますます掃除することが増えました。この仏殿には美しい観音様が安置されていますが、それは手彫りでとても美しい彩色がほどこされています。ぜひ訪ねて見て下さい。それだけの価値がありますよ。私にとっては大変重要なものです。というのは、私はそれが安置されるのを見、開帳の時も着物まで着て立ち合ったからです。こんな事を経験できて本当に光栄に思っています。もはや私はお寺の客ではなく寺の一部である、そしてどなたかが「永澤寺はあなたの第2の家ですね」とおっしゃったように、家族の一員であるとも感じています。だからこそお寺に行くのが楽しいのです。お寺にはとても温かい雰囲気があるのです。

お寺にいる間に座禅に挑戦しましたが、初めてであり、そんなに長い間座ることに慣れていないので15分位しかできませんでした。また、警策で肩を打たれましたが、これは思ったほど痛くありませんでした。オーストラリアへ帰る前にまた座禅をしたいと思っています。

お寺では多くの特別行事がありました。最初の行事は3月に行われた永澤寺祭り（餅まき）でしたが、これはとても興味深い祭りでした。次に参加した行事はお盆でしたが、これは日本文化についてより多く学べるとても良い機会でした。永澤寺にいる間に仏教とお寺の歴史について多くのことを学びました。

オーストラリアへ帰ったら、きっと永澤寺とお寺の皆さんのことを懐かしく思うでしょうが、もしできたらずっとお寺にいたいという気持ちがあります。「なぜ何かを本当に愛した時それが奪い去られてしまうのだろう」とかつて書かれたことがあります。まさにそんな気持ちです。また冬休み（新年）の滞在を楽しみにして、月1回の滞在も引き続き楽しく過ごしていこうと思っています。

訳 Yasuyo (一部省略)

バージニアの永澤寺修業

Homestay at the Yotakuji Virginia Blakemore

For two wonderful weeks in the summer holidays, I spent at Sanda's Yotakuji owned by Yoshihiro Watanabe. These two weeks were filled of learning and helping. I enjoyed those two weeks so much that I now return every dainidoyobi (2nd week of the month).

Everyday starts off at around 7:00. But soji (cleaning) doesn't start until around 8:30. I always start off by cleaning my room. I use a cloth and water to clean the hall. This is called zokin soji. Once I have finished my room I help clean the temple, usually in the main area ready for all the visitors that will come and see the temple that day. There is always soji to do and I don't mind helping as it is often fun and a good learning experience.

At the temple there are all kinds of soji that I do for example cloth cleaning (zokin). This type of cleaning cleans the floors, like using a mop. There is sweeping (hoki) both inside and outside. Outside got hot in the summer but we all survived with the great number of breaks. I also help with flower arranging and helping prepare meals. After lunch we usually have an hour rest, we catch up with some sleep.

Now with the new temple which opened on October 23rd there is much more cleaning to do. In this temple there is a beautiful statue called Kannon-sama. It was handmade out of wood and painted so beautifully. It is worth the visit to go and see kannonsama. It is one of the temple's greatest features. Kannon-sama is 7 metres in length, but its body is 4 metres.

Kannon-sama is very important to me. I saw it being put in, I was there for the opening and I even wore a kimono. I feel very privileged that I can see something like the opening of Kannon-sama I am no longer a guest at the temple. I feel part of the temple and as someone said "The Yotakuji is your second home, isn't it!" I feel I belong in the family and that is one of the reasons why I enjoy going there. It has a very warm atmosphere.

One time while I was at the Yotakuji I tried Zazen (sitting meditation). But because it was my first time and I'm not used to sitting like that for a long period of time I only did it for about 15 minutes. I also got hit on the shoulder with a wooden stick, that didn't hurt as much as it seems. I hope to do Zazen again before I return to Australia.

I have been at the temple for many special events. The first event at the temple was the Yotakuji's festival (mochimaki). This festival was in March and a very interesting festival. The next event that I was there for was Obon. This was a very interesting time as I learned more about Japanese culture. The main festival that I was there for was the opening of Kannon-sama.



▲境内の掃除をするバージニア

Also opposite the temple is beautiful gardens, these two different gardens are very popular in May and June.

While at the Yotakuji I have learned a lot about Buddhism and the history of the temple. The temple dates back 600 years.

I know when I do return to Australia I will dearly miss the Yotakuji and everyone there. If I could, I would stay there forever. It was once written "Why is it that when you love something so much it has to be taken away from you?" I look forward to my stay in the winter holidays, during New Year and I will continue to enjoy my stay there every month.



▲'94ガイド国際キャンプにて

この2週間、全てのものが初めての事ばかりで、びっくりしたり、とまどったり、楽しかったりと、言葉では言い表わせない毎日でした。そんな中で「人とコミュニケーションをとる楽しさ、お互いの思いが通じた時のうれしさ」などを改めて感じさせられたことは私にとってとても大きな収穫でした。どうしても分かってもらいたい、分かりたいとお互いが思えたからでしょうか。こう感じられてからです。心から「人種・言葉の違いなんて問題じゃない」と思えたのは、これがこの夏得た大切なモノの一つです。

北アイルランドでは、1週間、「アルスターフーリー'94ガイド国際キャンプ」に参加し、その後5日間同じガイドの方のお宅にホームステイさせて頂きました。

私はガールスカウトとして、リーダー2名、スカウト6名で'94年7月24日〜8月6日の2週間、北アイルランドとロンドンに行って来ました。

北アイルランドでは、1週間、「アルスターフーリー'94ガイド国際キャンプ」に参加し、その後5日間同じガイドの方のお宅にホームステイさせて頂きました。

この2週間、全てのものが初めての事ばかりで、びっくりしたり、とまどったり、楽しかったりと、言葉では言い表わせない毎日でした。そんな中で「人とコミュニケーションをとる楽しさ、お互いの思いが通じた時のうれしさ」などを改めて感じさせられたことは私にとってとても大きな収穫でした。どうしても分かってもらいたい、分かりたいとお互いが思えたからでしょうか。こう感じられてからです。心から「人種・言葉の違いなんて問題じゃない」と思えたのは、これがこの夏得た大切なモノの一つです。

佐野佳子さん (北摂三田高校1年) 県代表で北アイルランドでの国際キャンプに参加

県民芸術劇場 モンゴル民話

＝劇団道化座公演＝

スホの白い馬



平成7年2月26日(日) 2:00PM
三田市民会館大ホール

作/渡辺 鶴
構成・演出/須永 克彦

一般 2,000円
高校生以下 1,000円
親子ペア券 2,500円
※当日は300円増

主催/三田市・三田市文化振興基金協会・兵庫県
兵庫県教育委員会・財兵庫県文化協会

後援/三田市教育委員会・三田市文化協会・三田親と子の劇場・三田ロータリークラブ
三田南ロータリークラブ・三田ライオンズクラブ・三田中央ライオンズクラブ・
国際ソロプチミスト三田・三田青年会議所

◎お問合せ/三田市文化室 ☎(0795)59-5022

国際デイキャンプ

INTERNATIONAL DAY CAMP

94年10月第1日曜日の2日、気持ちの良い秋晴れの下、当協会主催のデイキャンプが、小柿の三田市野外活動センターで行われた。

今回のデイキャンプは三田市の第1の姉妹都市オーストラリアブルーマウンテンズ市(ブ市)より来られた、セントコロロンバス高校の歓迎を兼ねて行われた。10代らしいはつらつとした交流が繰り広げられた。また協会員を始め、セントコロロンバス高校の生徒達のホームステイ先の家族の方々を含め総勢120名の参加があった。空は申し分なく澄み渡り、長くても暑さ厳しい夏の面影もなく、心地良い風の吹く恵まれた天気であった。始まる10時頃になると次々と車で到着、受付にて名札をもらい、それぞれのグループに分かれ、パーベキューの準備にとりかかった。

Quiet and Peaceful Japan

準備の合い間、4、5人のブ市の高校生に聞いてみた。

●皆さん日本は初めてだと思いますが、日本の印象は?

「Very quiet and peaceful」静かで穏やか。また皆、口をそろえて学校や駅などきつと掃除がしてあつてきれいなのに驚いたぞうだ。

ホームステイはどうですか?

「楽しんでます。日本に来る前に、先生がお風呂の入り方とか、家に入るときは、靴を脱ぐとか教えてくれたので問題ありません」日本語を勉強しているのもっと日本語で話したいという人もいた。

食べものはどう?

「おいしい、好き。でもちよつとスシは苦手」「たこはどうも...」でもクリス君はスシが大好きだと言いました。

●三田に来る前にどこに行きましたか?

京都・奈良・岩国・広島に行きました。

●疲れていませんか?

「全然。とても楽しい旅でした。乗り物の中で適当に休めますから」

さすが10代はエネルギーが豊富、各地で日本を満喫された様子。三田に着いた翌日は台風で休校になったので体を休めるにはちょうど良かった様だ。その日は11時まで寝ていたという人もいるし、ホームステイ先の家族との交流もできたようだ。日本に来る前にはあれこれ心配もしたらしいが、来てみればそんな心配は吹き飛んで、持ち前の若さで楽しさに転じて話の種にしているらしい。

炭焼のおいしいパーベキュー

ブ市の高校生達の楽しい話を聞いているうちにパーベキューのいい香りがあたり一面に充満してきた。お肉を始め、エビや野菜が程よく焼けて、次々とみんなの口元へと運ばれていった。あちこちに楽しく歓談する人々の輪ができ、和やかな雰囲気になりました。腹ごしらえが終わると散歩をする人、バレーボールをする高校生、サッカーをする小学生、小川で水遊びをする子供達。

心地良い秋の日差しの中で時を楽しんでいた。今回ダナエさんの



▲市内高校の先生と歓談するマリオン先生(左)

ホームステイ先である吉岡さんにお話を伺った。「オーストラリアの事など興味深いお話が聞けて楽しいです。日本語や英語を混じえて家族や趣味について話しました。食事でも何でも食べてくれるし、違和感なく過ごしています」

エスタさんの受け入れ先の鈴木さんも同様、楽しく過ごしておられる様だった。

マリオン・クロスマン先生

クロスマン先生は、セントコロロンバス高校で日本語を教えておられる先生で今回の高校生22名の引率者であり、この旅の立案者でもあると言ったこと色々とお話を伺った。

●先生と日本との関わりは?

始めて日本に来たのは17才の時。交換留学生として来日しまし

た。今回で7度目の来日になります。

●生徒達の引率者としての苦労は?

今回で2度目の旅ですが、前回で学んだことが役立ちました。日本へ行く生徒を選ぶ場合も、日本のように学業成績に比重を置くことより、性格や協調性、マナーの点などを考慮します。いくら成績が良くても、怒りっぽい性格で日本でのホームステイに問題があると判断した生徒は外しました。今回参加した生徒達は本当にすばらしい子達で、三田に来る前にいろんな所を訪問し、ユースホステルを利用しましたが、「うるさいから静かにしなさい」「早く寝なさい」等、何度も言わずに済みました。

●生徒達はホームステ

イをどのように受けとめていますか?

皆とても喜んでいますが、出発前は不安で心配していましたが、人のやさしさに触れて、その心遣いに接して、ホームステイ先のお母さんと自分のお母さんを重ねてみたり、生の出会いを通じて皆、人は言葉や習慣が違ってても基本的に同じなんだと気付いていくのです。その経験がとても大切。それは普通の観光旅行では味わえないホームステイのエッセンスです。

●これからも高校生達を連れてこられるのですか?

そうしなくちゃ。もうすでに、次の旅を楽しむに、アルバイトに励んでいる子がたくさんいるのですから。また参加する生徒は全員日本語のクラスを取っていますから、日本語を使えるのを楽しみにもしています。

そしてこのような旅やホームステイが学校教育では成し得ない貴重な経験として、相互理解に大きく役立つというのを熱く語ってくれた。説得力ある語り口に、明るい未来が開けそうで嬉しくなった。

プロのマジシャン ミスター・オザキ

事業委員のリードで、楽しい歌やゲームに心地良い汗を流して



▲フォークダンスを踊る参加者

から本日のメインイベント「マジック」の行われるホールへと向かった。市内あかしあ台在住のプロマジシャンミスター・オザキ。赤と黒で決めたコスチュームは彼のシャープな身のこなしと手さばきにびったり。流暢な英語に、ブ市の生徒たちもにっこり、大小のランプのマジックを始め、次々と紙袋から物が飛び出し、ガラスの小箱からは、たくさんのスカーフが消えたはずの名前入りの赤いハンカチが、フランスパンの中から出てきたのは、全員目を丸くした。またリングを使ったマジックも最高。プロの技を十分に満喫し、こやかな笑みのうちにプログラムは終り、3時すぎそれぞれの家庭に帰っていった。

国際化に向けて

カラー写真印刷・パッケージ

UNISUGA PRINTING CO., LTD.

ウニスガ印刷株式会社

〒677 兵庫県西脇市和布町39 TEL (0795) 22-3226 FAX (0795) 23-6229

平和のメッセンジャー 北浦葉子さん

1982年、単身渡米以後3年間、平和のメッセンジャーを伝えながら、アメリカ全土・中米を巡り、帰国。その体験は著書「チャンスの前髪をつかめ」ヨコのアメリカ大陸平和行脚(91年朝日新聞社)となり、現在ボランティアグループNAC(ネバー・アゲイン・キャンペーン)の活動を続けている女性が、今回ご紹介する

●葉子さんの平和行脚は、当時朝日新聞の天声人語やテレビで紹介され、ご存知の方も多いと思うのですが、アメリカで平和のメッセンジャーを伝えたいと思われたきっかけは?

大学卒業後、中学校で国語の教師をしていた時、生徒達に「夢を持って生きよう。人生はただの一度きり」とよく言ったんです。私は、いわゆる熱中先生だったんですが、ただ口先で夢を持って言うのではなく、私自身が何か努力して実行してみせることで、子供達

の力になれるのではないかと。英語は好きで勉強もしていたので、いつかアメリカへ行こうと考えるはいました。ただ、せっかくだから何か目的を持って行く。その「何か」を捜している時に、たまたまテレビでローマ法王が演説する様子を目にしました。す。法王が、平和アピールのために日本語まで練習して広島へやってくるなんて。全世界に中継され、紹介されている「ヒロシマ」改めて問うてみると、実質的なことは何ひとつ知らない自分に気がきました。私は早

速、広島へ行き、色々なことを知ろうと被爆者の方の話を聞いた。資料を集めたりするうち、アメリカの人達に「ヒロシマ」の心を伝えようと決意したんです。82年6月、国連の軍縮関係の催しに合わせて渡米する計画

カへ持参できることになり、渡米前には、日本料理を習い、着付けを覚え、お茶・お花の免状もとりました。●すばらしい感受性と行動力が新たな出会いを生むんですね。葉子さんの平和行脚は、具体的にどんなものですか?

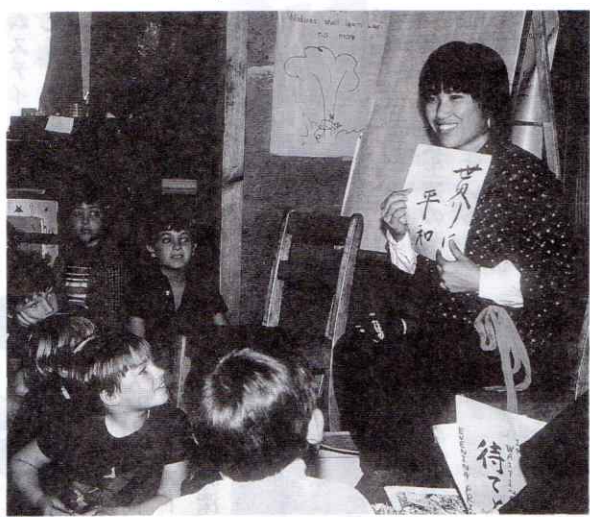
ホームステイをしながら、その時々に出会った人達の理解と協力を得て、約1万6千人の人達に平和のメッセンジャーを伝えました。平和行脚を終えた時、信念があれば、誰かが手をさしのべてくれる。それが生まれ、そこに真実の何かが生まれる。そんなことを感じました。●約10年間NACの活動をされていますが、日本へ帰る前、アメリカでお世話になったレイスロップ教授夫妻が、第二、第三のヨコを送り出そうと言ってくださり、お二人と一緒にNACを発足させました。最初の年に「ホームステイをしながら平和のメッセンジャーを伝えてみませんか」と新聞で募集したところ、100人くらい全国から応募があり、その中から選ばれた一学期生の7名に続いて、隔年518名の平和大使(NACボランティア)を派遣しています。渡米が決まったメンバーは、出発までに「通信トレーニング」を受けなくてはなりません。たとえばアメリカで特によく尋ねられるだろう25の質問を日英両文にまとめたり、20人以上の被爆者の方々にインタビューしたりといったことです。約1年の渡米準備期間中にも、多くの出会いを得て、彼らは大きく成長

は政治色・宗教色のない、全く手弁当のボランティア団体で、広い意味での教育活動といえますね。NACに参加したメンバーが有形、無形の財産を持って帰り、また新たな人生を歩んでいることが、私自身の財産にもなっています。●最後に、若者達に葉子さんからメッセージを。人生を大切に。たえず心のアンテナを張ってチャンス待ち、チャンスがやって来た時には、思いきって飛び込む勇気を持ってほしい。置かれた立場でベストを尽くすことで、後悔しない納得できる人生になるのでは。何事にも全力投球でバイタリティー溢れる葉子さん。お子さん達の世話をされる様子は、

優しいお母さんそのもの。日中どんなに忙しくても、音楽好きのお連れ合いとの、ゆっくりしたひとときを大切にしているとおっしゃる。葉子さんとNACから巣立ったNACボランティア達が蒔いた「平和の種」が、いつかきつと実を結びたいことを願って。一層のご活躍を期待しております。ありがとうございます。TOSHIKO

●結婚後、三田に来られたそうですが、自然が残っていて田舎の良さがあるのに、大阪へは直通で行ける。夫も私も、ここがとても気に入っています。●お子さんは、おいくつですか? 二人とも男の子で4才と1才です。一番手がかかる時期で、今は子供中心の毎日。30才を過ぎて母親になったんですが、子供を持つと命の尊さを実感しますね。

をたて、その直前の4月、広島を再訪した折、思いがけなく、映画監督のマーチン・ダックワース氏の通訳をすることに。彼は、被爆者の声を世界に伝える映画の製作のため、広島へ来ていました。多くの被爆者にインタビューをし通訳してくれる人を捜していた。そんな彼に出会えたのはとてもラッキーでした。原爆映画「にんげんをかえせ」もアメリカ



▲子供達に平和のメッセージを伝える葉子さん

会場は主に学校ですが、教会などでもやりました。先ず日本文化を紹介するために、折紙を教えたり一緒に日本の歌を歌ったりしました。子供も大人もとても興味を持ってくれました。少しでも日本の心に触れてほしいと願いながら、日本の文化・歴史そして戦争へと話を進め、持参した「にんげんをかえせ」を見てもらったのです。

内田さん♥レインさん
パイン倶楽部の元広報委員の内田裕子さんと、一昨年末まで北摂三田高校の英語教師をされていたレイン・プリボアさんが、アメリカで結婚されました。おシアワセ!!!

取材) (94年2月 ご自宅にて)



SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION

公募

タペストリー・旗のデザイン募集

・三田市国際交流協会・

三田市国際交流協会では、協会の事業開催時に使用するタペストリー・旗のデザインを公募いたします。
— 皆様のご応募をお待ちしております —

《公募要項》

- ・応募作品は未発表のものに限ります。
- ・B4以内の用紙に記入して下さい。
- ・作品用紙の裏側に氏名、電話番号、年令を記入して下さい。
- ・応募作品は返却いたしません。ただし申し出があった場合のみ返却いたします。

応募先 〒669-13 三田市三輪2丁目1-1 三田市役所文化室内
三田市国際交流事務局 ☎0795-63-1111 内線217

締切 平成7年1月31日(火) 当日消印有効

賞 審査のうえ、採用作1点を決定します

著作権 採用作品の著作権は協会に帰属します。協会において補作し決定作とする場合があります。

Forgive Forgave Forgotten…?

Hokusetsu Sanda Senior High School
1st Grade Miss Kumiko Mizumoto

スピーチ コンテスト 優勝者原稿

戦争を 繰り返さないために

県立北摂三田高等学校 1年 水本久美子

Yes, it was about six years ago. I was around ten years old and was living in the United States. I had a friend named Amy. She was a very bright girl and we were close friends. I said her name was Amy, but actually it was her nickname. She was a Chinese girl, and her real name was hard to remember and pronounce.

One summer day, I went to her house for the first time. when we were swimming in the pool, her grandfather came. He looked at me as if he was remembering his old days. Amy's grandfather - with a very nice peacemaker's smile - came up to me and started talking to me. "You know, I can speak Japanese."

I froze. But Amy was delighted and said, "Oh really. Please say something in Japanese." So her grandfather asked me something in Japanese. I don't remember what he asked me, but I remember answering "Yes" in Japanese. After that, Amy asked what we had been talking about. But my mind was far away.

Elementary schools don't teach students about the Second World War so much. However, I was very interested in it, so I read many books about it. I read those books as if I was reading a story, because it was difficult for me to relate to the war. Of course I did feel that it was very cruel. But those things all happened long ago. It was all finished before I was but I never felt guilty. Why should I have to apologize? I didn't do anything. It was all done by adults.

But standing in front of Amy's grandfather, I was very frightened. I thought Japanese by a strict soldier at school? Or was he taken to Japan against his will? Anyway he must be angry. He must hate Japanese. I was very very frightened. Then I heard Amy ask her grandfather, "How can you speak Japanese?" "Because I have been to Japan. I used to work there building bridges." He looked at me, but he didn't seem angry at all.

Then I noticed something strange. Even his grandchild Amy hadn't known the reasons why he could speak Japanese. For the first time, I was very ashamed. I was ashamed of being Japanese. We Japanese did awful, cruel things, but this old man, who was a victim, treated me in a very natural and relaxed way, even though he knew I was Japanese. I never felt this miserable.

Probably he thought I wouldn't know or understand anything that Japan had done, for I was too young. But I think he wanted me to remember, because he looked straight into my eyes. He wanted me to remember what he said, and to keep this knowledge for the future to understand that people who were once enemies could become friends.

All over the world today, there are still many people who are fighting against each other, Because they are not brave enough to forgive one another. I know it is not easy to forgive someone who did you wrong, but this old man did. He forgave Japan for taking away his youth. He let me be friends with Amy. This has a very significant meaning. Because I met Amy and her grandfather, I would be against any war between China and Japan, not just because war leaves only bad things.

If there's someone you like in a hostile country, you won't be able to fight. It's important for one country and another to be allies. But it's more important for people to be friends. And for the people who are fighting now, you have to forgive, like Amy's grandfather forgave, but you shouldn't forget the mistakes. Then the future will be brighter for everyone.

そう、あれは6年前のことです。当時10歳ぐらいだった私はアメリカに住んでいて、エイミーというとても気の合う友達がありました。彼女は中国人の女の子だったので、本当の名前は覚えるのも、呼ぶのも難しいものでした。ですから「エイミー」は本当の名前でなく、あだ名のようなものでした。

ある夏の日、私は初めてエイミーの家を訪ねました。プールで泳いでいると、とてもやさしそうなおじいさんが現れ、何か遠い昔のことを思い出さうな目で、こちらをしばらく眺めてから、私に話しかけてくださいました。「わしは日本語が話せるんだよ」私はぞっとしました。でもエイミーは喜んで、「本当に? なにか話してみて」と言ったので、おじいさんは私に何か尋ねました。その時何を聞かれたのか覚えていませんが、私は日本語で「はい。」と答えたのを覚えています。その後エイミーはおじいさんに何を話していたのか聞いていましたが、いつしか私は遥か遠くに思いを馳せていました。

第2次大戦のことを小学校ではあまり詳しく教えてくれませんでした。私はなぜかとても興味があり、よく戦争ものの本を読んでいました。しかしそれらの話が、本当にあった事実としての感覚を私に与えたことはなく、私はひたすら物語のように読んでいました。というのも戦争を経験したことのない私です。当然かも知れませんが、もちろん「ひどいなあ」とか「かわいそうに」などは思いました。日本が中国、朝鮮などにひどいことをしたことを知っていました。でも自分が悪いなんて思ったことはありませんでした。私が何をしたというのですか。すべて私が生まれる前に大人たちがしたことじゃないですか。

しかし、おじいさんを目の前にして、私は背筋がぞくぞくしました。なぜこの人が日本語を話せるんでしょう。学校で日本軍がむりやり教えたのでしょうか。それとも日本に強制連行されたのでしょうか。何にしろ、きっと、いや絶対日本人を恨んでいるはずですよ。

するとまたエイミーが、「なぜ日本語を話せるの?」と聞きました。「わしは日本に行ったことがあるんだよ。橋を造ってね」おじいさんは私の方を見ながら、そう語ってくれました。でも全く怒っている様子はありませんでした。その時、私はとても不思議なことに気づきました。なんと彼は孫のエイミーにすら、自分がなぜ日本語が話せるかを教えてなかったのです。私はとても恥ずかしかった。自分が日本人だということに腹が立ちました。私たち日本人が、あれだけひどいことをしたのに、犠牲者である彼は、私が日本人であることを知りながらも、親切にしてくれました。私は惨めでした。多分おじいさんは、幼かった私には日本がどんなことをしたのか、分からないだろうと判断したのではないのでしょうか。しかし彼は私が次のことを覚えておくことを願ったと思います。——昔は敵同士だったとしても友達になれるということ。

人を許すという大変なことを、このおじいさんはしました。まだ世界にはお互いのことを許す強さがいないために戦い続けている人がたくさんいます。私はエイミーとおじいさんを知っているので、もしこの先、中国と日本が戦争をするようなことがあったら、私は絶対に反対します。ですからおじいさんが私とエイミーが友達になることを許してくれたことは、重要な意味をもちます。敵国に好意をもっている人がいたら、戦うことなんてできません。国と国が同盟を結ぶことも大切ですが、そう考えると人と人が友達になることの方が、ずっと大切です。そして今なお戦っている人は、エイミーのおじいさんのように、つらくても相手を許すべきです。でも許すことと忘れることは違います。誰もが幸せになるためには、決して過去の過ちを忘れてはいけません。

広報委員募集

三田市国際交流協会では、パイン倶楽部の編集を手伝っていただく広報委員を募集しています。

(取材をしたり、文章を書くことに興味のある方)一緒に広報紙を作りませんか。

お問い合わせ

三田市国際交流協会事務局
〒669-13 三田市三輪2丁目1-1
☎0795(63)1111 内線217

「手紙の翻訳をお手伝いいたします」

—— 手紙で国際交流の輪を広げましょう ——

海外のお友達、知り合いに手紙を出したい……けれど英語がちょっと不安という方、三田市国際交流協会のボランティアで翻訳のお手伝いをいたします。

- ・英語に限ります。
- ・個人の簡単なカード・手紙に限ります。(3枚程度まで)
- ・専門的な内容のもの及び営業に係るものは除きます。
- ・翻訳には1週間程度期間を要します。
- ・謝礼は不要です。

お問い合わせ/連絡先

三田市役所文化室内
三田市国際交流協会事務局
TEL.63-1111 内線217 尾上・吉安

楽しい日常英会話 No.7

今回は、すてきな人へのほめことば **You look very chic.** を覚えましょう。

★ある日本人男性が、ドレスアップしたアメリカ人女性に "You look very chic." (とてもセンスがいいね。) と言いました。

すると彼女は、"No, I'm not sick." とくり返すはめになってしまいました。さてどうしてでしょう。

彼は chic を (sɪk) (シック) と言ってしまったからなのです。つまり彼女には "You look very sick." (かなり具合が悪そうだね。) と聞こえてしまったのですね。

せっかくほめたのに、彼女の気嫌をそこねてしまいました。chic は (ʃi:k) (シーク) とちゃんと発音しましょう。

すてきね、かっこいいねと言いたいとき、他にも **You look nice! You look trendy!** など使えますね。

また、物を主語にして、**Your dress is chic.** (あなたのドレス、イキね。) **It's very nice.** (それとてもすてきね)ともいえます。ほめられたらけんそんせずに **Thanks. Thank you.** などと言うのを忘れずにね。

…… look ~. はいろいろな表現に使えますね。
You look happy. (幸せそうね。)

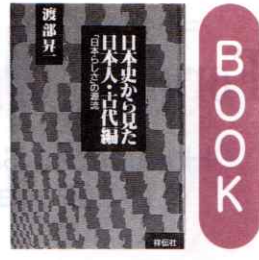
You look lively. (生き生きしているね。)

He looks sad. (彼 悲しそうね。)

She looks beautiful. (彼女 きれいなね。)

She looks tired. (彼女 疲れてるみたいね。)

などなど。みなさんも使ってみてね。



「日本史から見た日本人・古代編」

著者 渡部昇一

平成元年五月発行

祥伝社

「日本文化とは、日本人とは？」という問いかけに、あなたはどうか。よくYES・NOを曖昧にしか言わない、お金儲けのことしか考えない国民などと批判されますが、私達にはもつと誇りを持つて語れる文化・歴史があるのです。独自の民族・言語・王朝も有史以前から続いているし、各地で行われる神社(し

かも木造の)での祭りなどは、エジプトの遺跡とは違い、「生きた文化」と言えるのではないのでしょうか。また子供の教育に關しての日本、他国との違いの背後にあるものは何かなど読むうちにどんな古い時代の話でも、今の私達の考え方に少しでも関わっているように思うし、またそうであるからこそ、歴史を知ることが楽しくなるのだと思います。自文化をもつと知り語る楽しさを、この本で見つけてみて下さい。

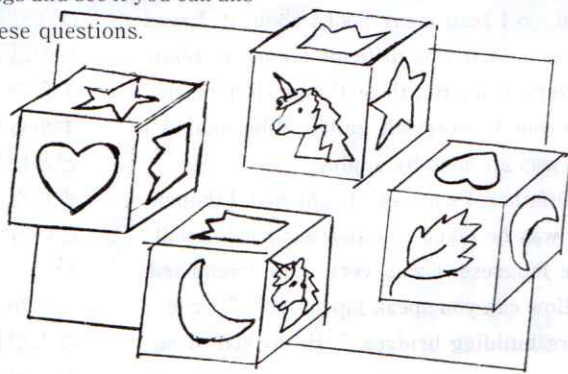


VIDEO

「ある日(ある日)」監督 ジーンノット・シ

THE UNICUBE PUZZLE

Here are four drawings of the same cube but showing it from four different views. Look at the drawings and see if you can answer these questions.



- I. What's opposite the moon?
- II. What's opposite the unicorn?
- III. What's opposite the crown?

QUIZ

ユワルク
主演 ジェーン・セイモア
クリストファ・リーブ
甘いムードの音楽でタイムトラベルに成功し恋に落ちるといふ夢のようなお話を盛り上げていくノスタルジックなラブファンタジー。「大西部ドクターイン」で人気のジェーンが、勝気で献身的な女医役とは一味違った役をこなしており、彼女の美しさも極まっている。 JUNKO

クイズの答えと本紙の感想をハガキに書いて送ってください。抽選でテレホンカードを差し上げます。
送付先
〒669-113
三田市三輪2-1-1
三田市文化室まで。締め切りは1月31日必着。前回の答えと当選者
TASTEFULLY
IMMEDIATELY
NOURISHING
REINFORCED
DISCONTINUED

Counseling for Non-Japanese Residents

Counseling on matters pertaining to everyday life is now provided both in person and over the phone.

Hours: From Monday to Friday 10:00A.M ~ 4:00P.M

Location: Sanda City Office 2F Culture Section

TEL 63-1111 (ext 217) FAX 63-1366

Ms. Onoe, Ms. Yoshiyasu

mimi's Easy Cooking

♡アップルボールケーキ (約20分)

(作り方)

- りんごは6割りのくし形にし、皮をむいて芯を取る。鍋にバターと砂糖を入れて中火にかけ茶色になるまで砂糖を返し、全体を混ぜてアップルを煮立てる。
- 中火の弱くし形に切ったりんごを加える。木杓で上下を返し約10~15分くらい煮詰めいく。
- りんごがカラメルを吸ってしんなりし、みみ色に仕上がると汁を加える。木杓で上下を返し約10分くらい煮詰めいく。粗熱を取って7割で蒸ごこえの残りをのこす。
- ボウルにキックスと卵と牛乳を加えてよく混ぜる。
- 4の生地を20等分して、お茶碗で丸め、中心にほねをつぶし、りんごをのせておく。生地を寄せて穴をあけ、もう一度ボール状に丸める。
- 中温の油に入れ、浅く揚げ焼き。この時、りんごが色づいて揚げる。熱いうちにシモンシガーをのせて揚げる。出来上がり

もうすぐ St. Valentine's Day!! 可愛らしいバレンタインのケーキを作ろう。 彼氏の心を掴むための...

材料
りんごのカラメル煮 2個
りんご 大2個
バター 50g
砂糖 50g
レモン汁 少々
市販のボウリングキックス 1箱(400g)
卵 3個
牛乳 大2杯
揚げ油 適量
シモンシガー 適量

▼若森さん、北浦さんの投じた日本文化紹介の種子は、現地で立派な大木に育っています。お互いをよく知ろう、理解しようという姿勢が友愛の精神を育みます。

▼真の国際化には、外の世界をよく知ると共に、その違いを理解していく姿勢が大事だと思います。感性の鋭敏な若い世代の異文化体験こそ価値があります。パージニアさんも佐野さんも素晴らしい経験を得ました。

▼例年、三田市学生英語スピーチコンテストの高校生部の優勝・準優勝者をオーストラリアに派遣しています。その枠を中学生の部優勝者にも拡げていくことは、今後の課題だと思えます。

▼円高で特に東南アジア等の近隣諸国への渡航は極めて容易になりました。そのようなメリットを活かし、積極的に機会を作っていく必要があります。皆様のご支援をお願い致します。

広報委員長 山崎宏之
副委員長 藤本みどり
内藤美恵子/馬場文加
西田冬至子/石田純子
本井貴子/小山寧代
事務局 中村忍
仲井浩一/尾上郁子
吉安智子

夢とやすらぎを求めて...

移りゆく四季の風情を背景に
舞台上に繰り広げられる
幽玄の世界・・・
幻想の世界・・・
日本にうけつがれてきた
伝統文化を存分に楽しんでください

■ヘレステーキ料理一式・・・¥5,300
■お昼のステーキ料理一式・・・¥1,900 (11:30~16:00 日・祭日はごさいません)
■お子様ステーキ料理一式・・・¥2,300
■お子様ランチ・・・¥1,000

三田屋本店

— やすらぎの郷 —

兵庫県三田市武庫が丘7丁目5番 ☎0795-64-4151(代)

